

令和元年度

いばらき県央地域観光協議会  
総 会

いばらき県央地域観光協議会

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

認定第1号 平成30年度事業報告について

認定第2号 平成30年度決算報告について

議案第1号 令和元年度事業計画について

議案第2号 令和元年度収支予算について

### 3 その他

### 4 閉 会

## 1 会議の開催

### (1) 総会

期 日	平成30年5月28日(月)
場 所	水戸市役所三の丸臨時庁舎 2階 会議室2
議 事	認定第1号 平成29年度事業報告について 認定第2号 平成29年度決算報告について 議案第1号 平成30年度事業計画について 議案第2号 平成30年度収支予算について 議案第3号 役員の改選について

### (2) 県央9市町村による会議

#### ① 周遊ツアー造成検討部会の開催

期 日	平成30年8月21日(火), 9月20日(木), 10月30日(火)
議 事	ターゲット及びコンセプトの設定について 周遊ツアーの造成について

#### ② 「2019年度事業」検討部会の開催

期 日	平成30年12月26日(水), 平成31年2月28日(木)
議 事	いばらき県央地域観光協議会「2019年度事業」について その他

## 2 事業の実施

### (1) 県央地域内の観光マーケティング調査

平成29年度に実施した観光マーケティング調査について、県央地域9市町村別、観光スポット別及び交通手段別と、より詳細に、どのような年代層が、どのようなエリアから来訪し、どれくらいの時間滞在しているかなどを把握する観光動態調査を行った。

また、県央地域の観光スポットへの口コミ情報を活用し、観光スポットの認知度や満足度を把握する分析調査を行ったほか、来日経験のある外国人(中国, 韓国, 台湾, タイ)を対象とし、県央地域の観光資源への関心度や情報収集手段等を把握するGAP調査を行った。

#### 【KPI進捗状況】

指標	現状値(2018年度)	目標値(2021年度)
観光マーケティング調査の実施回数	5回	3回

## (2) 県央地域魅力発信事業

### ① 観光キャンペーンの実施

#### ア 「おいでよ！いばらき・とちぎ・ぐんまフェア 2018」におけるPR

期 日	平成 30 年 10 月 6 日 (土)
会 場	東京スカイツリータウン
内 容	・茨城県央観光ガイドブックの配布 ・県央特選お土産配布 ・観光大使やマスコットキャラクターとの写真撮影

#### イ 「秋」の観光キャンペーン

期 日	平成 30 年 11 月 8 日 (木)
会 場	茨城空港
内 容	・茨城県央観光ガイドブック (繁体字・簡体字) の配布 ・韓国語, 台湾語による一言挨拶, 歓迎横断幕の掲示 ・県央特選お土産配布 ・観光大使やマスコットキャラクターとの写真撮影

#### ウ 「早春」の観光キャンペーン

期 日	平成 31 年 3 月 17 日 (日)
会 場	イバラキセンス
内 容	・県央特選お土産販売事業者 (コントレ, 山西商店) による対面試食販売 ・物販ブースでの県央商品の試食提供 ・いばらき県央よいとこプランの案内

### ② 物産イベントの実施

9 市町村の手土産品を評価する品評会及び販売促進を図る特売会を実施した。

#### ア 発掘！いばらき県央おいしい手土産 品評会 2018

期 日	平成 30 年 11 月 23 日 (金・祝)
会 場	三の丸ホテル
内 容	・参加事業者 20 団体, 来場者約 400 名 ・出品商品の試食販売の実施 ・来場者の評価を基に, 受賞 5 品の決定 ・品評会にあわせた商品開発や販路拡大等の相談会の実施

#### イ 「第 71 回全日本フェンシング選手権大会」 いばらき県央特選お土産販売

期 日	平成 30 年 12 月 21 日 (金) ~ 22 日 (土)
会 場	青柳公園市民体育館

#### ウ いばらき県央特選お土産 特売会

J R 水戸駅構内「E-MONO」において, 期間限定の特売会を予定していたが, 受賞商品の品質の高さが評価され, 常設商品として取り扱われることになった。

### ③ 広告出稿

磯節全国大会のプログラム（予選会，決戦会等で2,000部配布）に広告を掲載した。

また，約33万人のリスナーを持つラジオつくばにおいて，筑波大学学生との連携により，県央地域の魅力ある観光スポットを紹介する「いばらきまんなかミステリーツアー」を放送した。

放送日時 平成31年3月18日（月）～20日（水），22日（金），25日（月）  
～29日（金） 午前8時30分～9時

### ④ 広域観光ホームページのデザイン刷新

2019年中の公開に向けて，ホームページ刷新のための情報収集，掲載内容及びページデザインの協議を進めた。

#### 【KPI進捗状況】

指標	現状値（2018年度）	目標値（2021年度）
土産品イベントの出品数	38品	100品
いばらき県央地域観光協議会 ホームページのページビュー数	17,165ページビュー	100,000ページビュー
外国人観光客向けキャンペーンの実施	2回	4回

## (3) 周遊型観光の推進事業

### ① 周遊イベントの開催

平成29年度に実施したワークショップ等で洗い出した県央地域内の観光資源を活用し，ツアーを企画した。企画したツアーは，県観光物産協会内「いばらきツアーオフィス」主催の「秋のいばらきよいところプラン」において参加者を募り，催行した。

#### ア 秋の雰囲気漂う酒蔵見学と限定ピザで秋の味覚体験ツアー

##### ～日本三大稲荷 笠間稲荷を訪れる～

笠間稲荷参拝と伝統ある酒蔵見学，そして県央地域の食材を使用した限定ピザ焼き体験などを実施した。

期 日 平成30年9月9日（日）

参加者 17名

行 程 水戸駅→別春館→ふれあいの里→笠間稲荷神社→笹目宗兵衛商店→  
笠間焼ギャラリー→友部駅

#### イ 大人の社会科見学！紅葉コキアの絶景と海の幸も満喫しよう♪

こだわり醤油蔵と酒蔵，普段は入れない研究施設での社会科見学に加え，秋の絶景コキアの紅葉と那珂湊の海の幸を楽しんでいただくツアーを実施した。

期 日 平成30年10月14日（日）

参加者 39名

行 程 勝田駅→国営ひたち海浜公園→黒澤醤油店→那珂湊おさかな市場  
→J-PARC→木内酒造→水戸駅

## ウ いばらきを食べよう！！「屋形船編」&～ヨーグルトでおもてなし～

県央地域自慢のグルメを巡るとともに、屋形船にて涸沼の景色を見ながら美味しい昼食を楽しんでいただくツアーを実施した。

期 日 平成30年10月21日（日）

参加者 32名

行程 水戸駅→かねふくめんたいパーク→涸沼広浦屋（屋形船）→四季の里（ヨーグルトサミット）→タカノフーズ→石岡駅

### ② 周遊ツアーの造成

平成29年度までの協議を踏まえ、周遊ツアーの造成、販売を実施した。

また、広域観光の推進に統一性・一貫性を持たせるため、ターゲット及びコンセプトを設定したほか、体験プログラム充実に向けた事業者説明会を行った。

#### ア 国内向けツアー7本の造成・販売（首都圏発着）

- ・写真に収めたくなる絶景！茨城フォトジェニックツアー（笠間市、茨城町、大洗町）
- ・あなたの知らない「干し芋」の世界 干し芋好き集まれ！生産量日本一の茨城へ（ひたちなか市、城里町、東海村）
- ・日本三名園「偕楽園」で梅まつり&村松山虚空蔵堂で開運&厄除け祈願（水戸市、ひたちなか市、那珂市、大洗町、東海村）
- ・絶対集めたい！茨城県7つの御朱印めぐり（ひたちなか市、小美玉市、大洗町、東海村）
- ・百花の魁！日本三名園 水戸・偕楽園の梅まつり  
旧水戸藩の藩校 国の重要文化財「弘道館」の梅（水戸市、ひたちなか市、大洗町）
- ・水戸・偕楽園梅まつりとイチゴ狩り食べ放題 冬の味覚を堪能！  
那珂湊で名物アンコウ鍋』（水戸市、ひたちなか市、笠間市）
- ・納豆好き集まれ！納豆工場見学&醤油工場見学（水戸市、ひたちなか市、小美玉市、茨城町）

#### イ 国外向けツアー3本の造成（首都圏発着）※詳細について、今後調整

- ・ひたち海浜公園と水戸偕楽園 茨城の2大公園と食を満喫！（水戸市、ひたちなか市、大洗町、城里町）台湾向け
- ・いなり寿司やヨーグルト 茨城県央地域の地産地消 茨城のグルメを満喫！（水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町）東アジア向け
- ・茨城県央地域の自然を堪能！自然と食の欲張りコース（水戸市、ひたちなか市、那珂市、茨城町、大洗町）台湾向け1泊2日

#### ウ ターゲット及びコンセプトの共有

専門の講師を招聘し、県央地域観光マーケティング調査の結果や9市町村の担当職員を交えたワークショップでの協議内容を踏まえ、ターゲットを「20～30代女性」とし、「何度でも通う、居心地のよい、もう1つの居場所であり、長く愛せる場所」という県央地域の存在意義の共有を図り、「私がシフトする、明日が変わる。あす旅 いばらき県央」というコンセプトを設定した。

私がシフトする、明日が変わる。

# あす旅

いばらき県央

コンセプト

## エ 体験プログラムの強化

県央地域ならではの体験プログラム強化のため、事業者向け説明会の実施等を行い、昨年度比で体験可能施設数が 26 施設増、メニュー数が 42 メニュー増となった。また、体験プログラム予約件数が 291%増、取扱額が 242%増となった。

### 【K P I 進捗状況】

指標	現状値 (2018 年度)	目標値 (2021 年度)
周遊イベントの県外参加者率	31%	45%
周遊ツアーの造成	10 本	8 本



ロゴマーク

認定第2号 平成30年度決算報告について

【収入】

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較	説明	
負担金	29,780,000	29,780,000	0	市町村負担金	
				水戸市	10,360,000
				笠間市	3,076,000
				ひたちなか市	3,283,000
				那珂市	1,781,000
				小美玉市	2,387,000
				茨城町	1,880,000
				大洗町	3,272,000
				城里町	1,800,000
				東海村	1,761,000
				観光協会負担金	
				@20,000×9 団体	180,000
繰越金	4,191,437	4,191,437	0	前年度繰越金	
雑入	563	245	△318	預金利息	
合計	33,972,000	33,971,682	△318		

【支出】

(単位：円)

科目	予算額	支出済額	比較	説明
報償費	0	66,800	66,800	観光大使派遣料
消耗品費	550,000	150,546	△399,454	観光キャンペーンノベルティ代
食糧費	5,000	4,420	△580	ラヂオつくば撮影時飲食代
印刷製本費	800,000	0	△800,000	
通信運搬費	5,000	0	△5,000	
広告料	300,000	157,300	△142,700	磯節全国大会広告料 ラヂオつくば放送料
手数料	50,000	67,068	17,068	振込手数料, サーバー管理手数料等
委託料	31,000,000	23,296,734	△7,703,266	各業務委託料
使用料及び 賃借料	1,250,000	0	△1,250,000	
予備費	12,000	0	△12,000	
合計	33,972,000	23,742,868	△10,229,132	

収入済額 33,971,682 円

支出済額 23,742,868 円

差引残額 10,228,814 円(次年度に繰越)



## 監 査 報 告 書

平成 30 年度いばらき県央地域観光協議会収支決算について、関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査したところ、いずれも適正であり、決算書のとおり相違ないことを認める。

令和元年 6 月 3 日

いばらき県央地域観光協議会

監事 笠間市観光課長 滝田 憲二

監事 城里町まちづくり戦略課長 大曾根 直美

## 議案第1号 令和元年度事業計画について

茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、引き続き、以下の3つの事業を柱に、広域観光を推進する。令和元年度は、前年度に「いばらき県央地域観光協議会」として設定したターゲット、コンセプト及びこれまでの成果をもとに、より効果的な事業展開を目指す。

### 1 県央地域内の観光マーケティング調査

平成29、30年度に実施したマーケティング調査の結果に基づいた戦略的な観光振興を引き続き推進する。

### 2 県央地域魅力発信事業

#### (1) 広域観光ホームページの刷新

ページビュー数の減少が続き、直帰率の高さやリピーターの少なさが課題となっている広域観光ホームページを、ページデザインの刷新やCMSの導入によって、視覚的な訴求力や更新率を高めたページとする。刷新にあたっては、設定したターゲット及びコンセプトに基づくものとする。

#### (2) 広告出稿

協議会事業の推進にあたって、広報不足が指摘されていることから、各種メディアを活用した効果的なPRに努める。広告の出稿にあたっては、刷新した広域観光ホームページの公開にあわせ、Web広告やSNS広告において、ホームページへの誘導及びSNS上での共有を狙ったキャンペーンを展開し、県央地域の認知や興味・関心の獲得を図る。

#### (3) 観光キャンペーンの実施

マーケティング調査において明らかになった「観光地としてのイメージが浮かばない」との課題を受けて、観光地としてのイメージの定着、向上を図るための観光キャンペーンを実施する。観光キャンペーンの実施にあたっては、県央地域内の周遊性向上や県央地域を訪れる人々の観光需要を読み解く定量調査、観光地としてのイメージ発信等、実施場所に応じて、戦略的な実施内容の検討を行う。

①国営ひたち海浜公園における周遊性の向上、定量調査を目的としたキャンペーン

②ネモフィラなどのキラコンテツを活用した交流人口増を目的としたキャンペーン

#### (4) 物産イベントの実施

平成29、30年度に開催した手土産品評会について、アンケートによる調査の結果から、ターゲットとしている女性層の集客を見込めるイベントであることが読み取れた。このことから、圏域全体の観光交流人口の増加を目指すため、より集客の可能な会場での実施を検討するほか、多様な需要に対応するため、手土産品の品評会に加え、県央地域でとれた野菜の販売等を含む多角的な物産イベントを開催する。

### 3 周遊型観光の推進事業

#### (1) サイクルツーリズムの推進

全国的にサイクルツーリズムを通じた地方創生の取組みが活発化しており、県でもいばらき自転車活用推進計画を策定した。県央地域においても、地域資源の組合せによる新たな観光需要の掘りおこしを図るべく、自転車による周遊が可能なモデルルートを設定し、サイクルツーリズムの推進を行う。

推進にあたっては、観光客等参加者が気軽に楽しめるよう、2～3市町村を周遊する走行距離の短いルートを設定し、その周知を目的としたグルメライドを実施する。

#### (2) 県央定食の開発及び現地ツアーの企画・催行

20代後半から40代前半の女性を中心に、月間15,000人が訪れる渋谷ヒカリエ d47 食堂において、県央地域の魅力ある食材を活用した定食の開発及び販売を行い、食を通じた県央地域の魅力発信を図る。また、開発した定食で使用する食材の生産地を巡る現地ツアーを企画・催行する。

#### (3) 県央地域内の観光資源魅力向上事業の推進

県央地域内で実施されるイベント等において、その魅力向上や県央地域内の周遊が期待できるものについて、協議会事業として支援し、コンテンツの磨き上げを図る。

なお、事業の実施にあたっては、協議会構成市町村及び観光協会から広く案を募るものとする。

案：納豆の日イベントにあわせた納豆に合う県央食材PR等

#### (4) 国内向け周遊ツアーの催行

平成30年度までに造成したコースをもとに、ツアーの販売・催行を委託し、県央地域への集客を図る。

また、平成30年度に88名を集客した県主催事業「いばらきよいとこプラン」への参画を継続し、県央地域内の観光資源の発掘を目指すとともに、ツアーの企画・催行を行う。令和元年度は、10ツアー250名の集客を目指す（現時点で4ツアー催行72名集客）。

#### (5) 国外向け周遊コースの周知

平成30年度に検討を行った国外向け周遊コースについて、マーケティング調査の結果をもとに内容の磨き上げを行う。また、県央地域への認知度及び興味・関心拡大を図るため、海外インフルエンサーを活用したプロモーションを実施し、誘客を図る。

#### (6) 体験プログラムの強化

「モノ消費」から「コト消費」へと消費スタイルが変化しているなかで、平成29年度から進めている県央地域ならではの体験プログラムの強化を引き続き推進する。新たな体験プログラムの発掘を目指し、事業者向け説明会の実施等を行うほか、既に提供を行っている事業者への取材を実施し、その内容をホームページに掲載、SNSで発信することで、観光客への周知、誘客の促進を図る。

議案第2号 令和元年度収支予算について

【収入】

(単位：円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比較増減	説 明
負 担 金	24,380,000	29,780,000	△5,400,000	市町村負担金 水戸市 8,250,000 笠間市 2,585,000 ひたちなか市 2,687,000 那珂市 1,364,000 小美玉市 1,988,000 茨城町 1,562,000 大洗町 2,878,000 城里町 1,473,000 東海村 1,413,000 観光協会負担金 @20,000×9 団体=180,000
繰 越 金	10,228,814	4,191,437	6,037,377	前年度繰越金
雑 入	186	563	△377	預金利息
合 計	34,609,000	33,972,000	637,000	

【支出】

(単位：円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比較増減	説 明
報 償 費	600,000	0	600,000	観光大使派遣料等
消 耗 品 費	1,200,000	550,000	650,000	観光キャンペーンノベルティ代 物産イベント受賞商品購入費等
食 糧 費	100,000	5,000	95,000	会議時飲料代等
印 刷 製 本 費	700,000	800,000	△100,000	ビニール袋印刷代等
通 信 運 搬 費	100,000	5,000	95,000	通知文書送付等
広 告 料	8,000,000	300,000	7,700,000	Web, SNS 広告 国外向け周遊コース周知
手 数 料	100,000	50,000	50,000	振込手数料, サーバー管理手数料等
委 託 料	23,300,000	31,000,000	△7,700,000	ホームページ刷新 物産イベント, グルメライドの実施 県央定食の開発やツアー催行 周遊ツアーの周知, 催行, 体 験プログラムの強化, 発信
使用料及び賃借料	500,000	1,250,000	△750,000	バス借上料等
予 備 費	9,000	12,000	△3,000	
合 計	34,609,000	33,972,000	637,000	

負担金の算出根拠

○各市町村

茨城県中央地域定住自立圏共生ビジョンにおける負担金算出根拠に基づき、均等割に人口割又は交流人口割の額を加えたものとする。

※人口については平成 30 年 10 月 1 日現在、交流人口割については茨城県観光客動態調査報告の最新版に基づく。

○各観光協会

定額 20,000 円

【負担金一覧】

(単位：千円)

市町村/ 観光協会名	人口(人) * H30.10.1現在	観光交流人口 H29年	負担金			合計(千円)
			マーケティング 調査	魅力発信事業	周遊型観光の 推進事業	
水戸市	270,289	3,965,900		2,898	5,352	8,250
笠間市	75,030	3,551,800		908	1,677	2,585
ひたちなか市	155,681	3,825,000		944	1,743	2,687
那珂市	53,585	255,600		479	885	1,364
小美玉市	49,656	1,940,100		698	1,290	1,988
茨城町	32,103	787,900		549	1,013	1,562
大洗町	16,232	4,340,600		1,011	1,867	2,878
城里町	18,763	549,000		517	956	1,473
東海村	38,307	385,500		496	917	1,413
小計	709,646	19,601,400	0	8,500	15,700	24,200
水戸観光コンベンション協会						20
笠間観光協会						20
ひたちなか市観光協会						20
那珂市観光協会						20
小美玉観光協会						20
茨城町観光協会						20
大洗観光協会						20
城里町観光協会						20
東海村観光協会						20
小計						180
合計						24,380

## いばらき県央地域観光協議会規約

(名称)

第1条 本会は、いばらき県央地域観光協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、県央地域首長懇話会の構成団体が連携して広域観光の推進を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる市町村（以下「関係市町村」という。）及び市町村の観光協会（以下「関係観光協会」という。）をもって構成する。

水戸市 笠間市 ひたちなか市 那珂市 小美玉市 茨城町 大洗町  
城里町 東海村

一般社団法人水戸観光コンベンション協会 一般社団法人笠間観光協会

ひたちなか市観光協会 那珂市観光協会 一般社団法人小美玉観光協会

茨城町観光協会 一般社法人大洗観光協会 城里町観光協会 東海村観光協会

(所掌事項)

第4条 協議会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 関係市町村の観光資源の活用に関すること。
- (2) 関係市町村の観光関連事業の連絡調整に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、必要と認める事項に関すること。

(組織)

第5条 協議会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 関係市町村の観光担当課長
- (2) 関係観光協会の事務局長又はこれに相当する職にある者

(役員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

2 役員は、委員の互選により選出する。

3 役員の任期は、2年とする。ただし、補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第7条 会長は、協議会の会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 監事は、協議会の会計及び業務を監査する。

(会議)

第8条 協議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経費)

第9条 協議会の経費は、次の収入をもって充てる。

(1) 負担金

(2) その他の収入

(会計年度)

第10条 協議会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第11条 協議会の事務局は、会長の属する市町村の観光担当課に置く。

(補則)

第12条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

この規約は、平成22年5月27日から施行する。

付 則

この規約は、平成29年5月19日から施行する。

いばらき県央地域観光協議会名簿（2019年5月現在）

【委員】

（敬称略）

市町村名／ 観光協会名	役職名	氏名	電話番号	備考
水戸市	観光課長	堀江 博之	029-224-1111	
笠間市	観光課長	滝田 憲二	0296-77-1101	
ひたちなか市	観光振興課長	西野 浩文	029-273-0111	
那珂市	商工観光課長	浅野 和好	029-298-1111	観光協会事務局長兼務
小美玉市	商工観光課長	藤枝 修二	0299-48-1111	
茨城町	商工観光課長	塚本 真司	029-292-1111	観光協会事務局長兼務
大洗町	商工観光課長	米川 英一	029-267-5111	
城里町	まちづくり戦略課長	大曾根 直美	029-288-3111	観光協会事務局長兼務
東海村	産業政策課長	小林 純一	029-283-5001	観光協会事務局長兼務
(一社)水戸観光コンベンション協会	事務局長	高丸 幸一	029-224-0441	
(一社)笠間観光協会	事務局長	笹ノ間 耕一	0296-72-9222	
ひたちなか市観光協会	専務理事兼事務局長	岡田 一男	029-273-0116	
那珂市観光協会	事務局長	浅野 和好	029-298-1111	
(一社)小美玉観光協会	事務局長	島田 久	0299-37-1255	
茨城町観光協会	事務局長	塚本 真司	029-292-1111	
(一社)大洗観光協会	専務理事兼事務局長	佐久間 伸水	029-266-0788	
城里町観光協会	事務局長	大曾根 直美	029-288-3111	
東海村観光協会	事務局長	小林 純一	029-287-0855	

【事務局（水戸市）】

役職名	氏名
観光課長	堀江 博之
観光課副参事	岩間 雅徳
観光課長補佐	川俣 和彦
観光課企画物産係長	根本 龍典
観光課企画物産係主幹	秋葉 健介
観光課企画物産係主事	中根 理沙
観光課企画物産係主事	中村 聖人